

(別表1)

## プロポーザル評価項目及び評価基準表

評価項目		評価基準
業務遂行能力	業務実績	・類似の業務を実施した実績があるか。
	スケジュール 業務実施体制	・業務が円滑に遂行できる作業スケジュールか。 ・同日に複数会場で業務することを踏まえた十分な実施体制か。 ・安全確保・危機管理体制は十分か。
総括事項	業務理解	・本事業の趣旨、目的を正しく理解したコンセプトか。 ・過去の本行事の実施状況や、最近の時勢を踏まえた内容か。
	企画性 広報	・本事業の目的を達成するため、仕様書には記載されていない独自の工夫があるか。 ・広報用ポスターのデザインや、インターネットを含む情報発信方法について、訴求力はあるか。
	経済性 効率性	・事業の趣旨や仕様書の内容を十分に踏まえながらも、経済的な工夫があるか。 ・確実かつ効率的な運営手法であり、最小の費用で最大の効果が得られる内容か。
追悼復興祈念式	会場運営	・式典会場内の祭壇や装飾のイメージ、座席配置などのレイアウトは、本行事の趣旨と合致しているか。 ・来賓、出演団体、一般来場者等の導線などを踏まえ、運営手法に問題はないか。
	企画性	・司会者の選定は適切か。 ・「犠牲者の追悼」に重きを置いた企画・演出となっているか。
	実現性	・司会者の手配や各提案内容について、実施体制や経費も含め、実現性が高いか。
オンライン献花	企画性	・サイトのデザインや掲載内容、使用する花等について、本行事の趣旨と合致しているか。 ・追悼復興祈念式及び3月11日知事メッセージとの連携等、本行事の効果を最大限にするような提案となっているか。
	実現性	・各提案内容について、実施体制や経費も含め、実現性が高いか。